

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	筑波大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ツクバダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F108110101423
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	茨城県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	TIAS Internship A、TIAS Internship B
	学部・研究科等名	人間総合科学学術院人間総合科学研究群（博士前期課程）スポーツ・オリンピック学学位プログラム
	担当教職員名・役職	河合季信准教授、ラクワールランディープ教授、山口拓助教
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	7
	受入企業等数	5
	受入企業等名	日本クリケット協会、H.C.栃木日光アイスバックス、Travel for Journey、関西学院大学、Designs（北京）
	インターンシップの分類	1.長期（概ね1か月以上）インターンシップ 5.他県をまたぐ広域インターンシップ 7.大学院生を対象とした研究インターンシップ 3.海外インターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類（記述欄）	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決（例：ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等）
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	日本クリケット協会（栃木）、H.C.栃木日光アイスバックス（栃木）、Travel for Journey（東京）、PRECOR（東京）、Designs（北京）で業務を実施、プロモーションイベント開催など課題事例について研究する
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	4.当該インターンシップは、必修科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学院 修士1年 大学院 修士2年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学院 4単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	国内外の競技連盟やオリンピック委員会、パラリンピック委員会などのスポーツ組織や、国や自治体におけるスポーツ行政組織、国際展開しているスポーツ関連企業などにおいて、4週間のインターンシップ先を決定し、スポーツ組織や競技大会などの現場における実践的知識を学びながら、キャリアパスの構築につなげる

要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	インターンシップ中に学生が教職員と連絡をとりあっている
3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	学生が事前にインターンシップ先と連絡を取り、実施計画について相談を行っている	
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	学自制が事後にインターンシップレポートをまとめインターンシップ委員会へ提出をしている	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	インターンシップ中に学生がzoomやメール等で教職員と連絡をとりあっている	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	学生はインターンシップ後にレポートを作成し、インターンシップ先の評価と合わせて成績評価を行っている
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	4週間以上実施
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	シラバスで4週間以上のインターンシップ実施を定めている
6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい	

要素⑥	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	インターンシップ先が学生について、価値観・思考・知識・スキル・思考タスクという観点から評価を行っている
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.tsukuba.ac.jp/education/g-courses-g-tsukuba-tokyo/2021-2/pdf/21108.pdf
問い合わせ先	大学等名	筑波大学
	担当部署名	スポーツ・オリンピック学学位プログラム事務室
	担当者役職名	
	担当者氏名	舘田
	電話番号	3651
	メールアドレス	tateda.aiko.gu@un.tsukuba.ac.jp